

慶良間諸島国立公園 ステップアップ プログラム2025

取り組み推進のための
ワークショップ

ニュースレター
Vol. 2

国立公園満喫プロジェクトの取り組みの一つである「ステップアッププログラム2025（以下、SUP2025）」を具体的に進めることを目的として、「地域がやりたいこと、できること」に焦点を当て、関係団体とともに、実現可能な実施内容の設定と役割分担を行うためのワークショップを開催しました。

ここでは2025年までの期間で参加者が主体的・具体的に取り組むプログラムを検討していきます。

第2回は、各団体（または個人）が第1回のWSで発表した取組目標の達成の成果や課題の共有と、2025年度末に向けて、各年度ごとに具体的にどのような取組を行っていくかのかを検討しました。

第2回

2025年度末までの目標（ゴール）達成に向け、 継続的な取り組みについて考えよう！



開催概要

【渡嘉敷村】

日 時：2023年 2月27日（水） 17:00～19:00

場 所：渡嘉敷村役場 庁舎2階大会議室

参加者：地域関係者8名

【座間味村】

日 時：2023年 3月 2日（月） 15:10～17:10

場 所：座間味コミュニティセンター

参加者：地域関係者9名

当日のプログラム（両村共通）

- ① 開会・挨拶
- ② 第1回WSの振り返り
- ③ グループワーク
2025年度末までの目標（ゴール）
達成に向け、継続的な取り組みに
ついて考えよう！
- ④ 発表



当日は各団体の実務担当の方にご参加いただき、渡嘉敷村では2グループ、座間味村では3グループに分かれて議論が行われました。

はじめに、各団体（または個人）が第1回のWSで発表した取組目標の達成の成果や、達成できなかったことについて課題を共有しました。続いて、これらの課題等を踏まえて2025年度末の目標(ゴール) 達成に向けて、各年度ごとにどのような取組をしていくかグループ内で発表し、連携方法やアドバイスなどの意見交換を行いました。

最後に、全体で発表し、それぞれの取組を参加者全員で共有しました。



グループワークの成果@渡嘉敷村

取組内容	2025年度末までの目標（ゴール）	2023年度の取組	2024年度の取組	2025年度の取組
受入環境整備	青少年旅行村をさらに活用・整備したい	法令等現状の確認、指定管理者との調整	新たな活用方法の検討	区内と連携した旅行村の有効活用
	部落内・道路を景観整備したい	伐採メンバーの確保	部落内の景観整備	区から阿波連に向う道路わきの景観整備
	阿波連ビーチ入口付近の景観整備をしたい	賃貸契約形態の改善に向けた検討 区民へ意見の聞き取り	水回りの増強と休憩所の確保を検討	展望施設、多目的ホール（団体旅行も受け入れ可能）等の整備
	阿波連ビーチの駐車場を整備したい	役場、環境省、林野庁に相談する	整備場所を決定	駐車場整備着工（ニシバマテラスのような休憩所も作りたい）
受入体制の充実	資料館の入客数をUPさせたい	県立博物館職員に分野別の詳細調査を依頼	資料館でのイベント開催（村民無料等）	交流の家との連携プログラム等による入客増
コンテンツの磨き上げ・体験メニューの多様化	3島連携の、付加価値の高いツアーを造成したい	22年度に実施したモニター事業の自走化開始（2本）	新規プランを造成し、計6本を自走化させる	自走プログラム12本以上実施
	ガイド必須のツアーづくりと人材育成をしたい	アクティビティの洗い出し、プログラム造成計画、ガイドトレーニング計画	新規プログラムモニターツアー等開始、ブラッシュアップ	2024年度にモニターしたツアーを自走化
	本島高校生を対象に探究活動プログラムを確立したい	渡嘉敷島内受入体制について、協力依頼（ハイシーズンでの協力依頼が課題）	学習内容・プログラムの明確化	協力者の拡充＝プログラムの多様化を実現
	漁業体験メニューを充実させたい（養殖体験）	試験養殖場の新設を村へ要望→村内の子どもたちへ体験メニューを試行	お客さんと呼べる体制づくり、体験メニューの磨き上げ	養殖場での本格稼働
	島から平和発信をしたい	島の語り部の方との勉強会の内容を定める	平和教育のプログラムを作っていく	
持続可能な利用の実現	海のルールづくりを支援したい	観光振興計画の策定の過程で、意見等の聴取	意見のとりまとめ	ルール作成支援・周知
	海域の利用ルールを策定したい	協会全体で利用ルールを話し合いまとめる	本島ダイビング業者との話し合い	本島事業者への周知
	無人島や周辺の入域ルールを検討したい	入域ルールを周りの業者間で注意し合う	無人島に上陸可能な人数を決める	ワンランク上の無人島ツアーの提供等
	遊漁者の利用ルールの作成、密猟者の対策をしたい	パトロールを実施して現況を把握する	現況を踏まえて対応方針を検討する	ルール作り体制構築
その他	特産品のショップをブ立ち上げたい 商品開発したい	予算の確保、事業者や特産品の掘り起こし	渡嘉敷ブランドの構築	（2024後半から2025で）アンテナショップ立ち上げ
	座間味・渡嘉敷合同イベントを開催したい	座間味や渡嘉敷の関係者などと意見交換	実行委員会を立ち上げ企画、ツアー会社と連携	合同イベントの開催

※グループワークの成果には、団体としての意見だけではなく、個人としての意見も含まれています。
また、当日欠席された方には、個別に意見をお伺いし、その結果を反映しています（次頁も同様）。

グループワークの成果@座間味村



取組内容	2025年度末までの目標（ゴール）	2023年度取組	2024年度取組	2025年度取組
情報発信強化・デジタル化	ホエールウォッチングの配船システムのデジタル化を図りたい	方法や費用について専門業者に相談、他団体が導入しているシステムも参考にする	デジタル化に向けて具体的なシステムの方法、課題（費用面等）を確認、検討する	
受入体制の充実	ビーガンメニューを提供したい	自主商品の確認、観光協会内で調理可能な商品の開発		
	宿泊者数を増やしたい	制作したPR素材によるプロモーション	空室情報の共有、事業者へアプリやSNS講習	空き家等の活用店と宿との連携
コンテンツの磨き上げ・体験メニューの多様化	座間味のホエールウォッチングをブランド化したい	「クジラにやさしいウォッチング」のPR	「クジラが安心して子育てできる繁殖海域」を一緒に守ってくれるクジラファンを増やしていく	
	冬季の集客と宿泊客の増加を目指したい	プロモーション実施、パッケージツアー等開発	他団体と協議・連携しながら新たな観光コンテンツを開発	
	星空保護区へ加入したい	役場と相談	ダークスカイ協会加入に向けた作業、夜間の街灯や自動販売機の照明等の工夫、住民への周知	
	雨天時の体験メニュー提供したい	体験型WSを行っている事業者の情報をまとめて発信	海の体験以外に簡単なWSができる事業者を増やす	実施事業者の育成
持続可能な利用の実現	海域の共通ルールの作成、整備をしたい	自主ルール草案作り、他団体との共通認識の模索、安全担保の確立、他協会や業者などに共通ルールを認識してもらう	草案作成に向けて、検討会を重ねて試行し、ルールの見直しや改善点の洗い出し	共通ルール確立後行政機関と連携しながら、村内外の船舶保持者にも島のローカルルールを周知
	エコツアー法によるアンカリング制限と海のゾーニングをしたい	協議会を再スタートさせ方法検討、海のゾーニングについて各団体で案を出す	エコツーリズム推進全体構想の見直しについて議論	エコツーリズム推進全体構想の見直し
	探鯨システムを継続させ充実させたい	探鯨員育成、自主ルール徹底、マニュアル作成	船長との信頼関係をよくし、クジラと人の良い関係を作る	探鯨員と船長、ガイドとの信頼関係を深め、より良いツアーの遂行
	ザトウクジラの「特定自然観光資源」指定と、トナキゾネ周辺を国立公園区域編入してほしい	「母子サンクチュアリ」や自主ルールの住民への周知、エコツアー協議会の再開で議論の場を設定	ザトウクジラの「特定自然観光資源」指定と重要な繁殖海域であるトナキゾネ周辺の国立公園編入に向けた検討、渡嘉敷との情報共有と連携強化	
	団体に属さない方への海のルールの周知（海外の方を含む）をしたい	協会でルールの明文化他協会と共通ルールのすり合わせ	団体に属さない人たちへのルールの周知・浸透を図る	
	（ガイド認定制度を含めた）島内ルールの条例化を検討したい	協会内や他の団体の人と話す場を増やす	協会会員を増やして協会のルールを周知していく	他団体と協働でパンフレットを作成し、村内外の人に周知する
その他	特産品の開発と6次産業化したい	サンプルを配り協力者を増やす、畑と畑人の確保、農業に興味のある人を他市町村に視察マッチングの促進	PDCAの中で出て来る問題解決、付加価値を高めるストーリー作り、小中学生による商品行商、島内消費の仕組み作り	稼ぐを知る、稼げる作物の洗い出し、次の可能性を探る、年収420万以上稼ぐ農家づくりを目指す
	村内行事やイベントを活用した集客をしたい	コロナ明け・行事やイベントの通常開催 人手確保のため、青年会・OBに声掛け	若手実業家を増やすため、島に戻らない理由のリサーチ	村外在住の二代目・三代目へ、島での生活イメージや先行事を共有

あいさつ

第2回ワークショップにご参加、ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。
次年度以降もワークショップを開催し、地域の皆さんと一緒に具体的な取組について考えていきたいと思います。
引き続き、よろしくお願いいたします。